

番組審議会

第13回 BS よしもと番組審議会

■開催年月日 : 2025年1月24日(金)

■開催場所 : BS よしもと株式会社 会議室

■出席した委員(敬称略)7名中5名出席 *あいうえお順

大原鶴美 (プロフェッショナル コミュニケーションスキル マスター・トレーナー)

川上和久 (麗澤大学教授)

品田英明 (元 味の素 AGF 株式会社代表取締役社長)

清水義次 (建築・都市・地域再生プロデューサー/株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役) *リモート参加

山田奈美香 (山田・尾崎法律事務所 弁護士)

■議題

- 1.開会の辞(審議委員長)
- 2.開会の挨拶(稲垣 社長)
- 3.編成関連の報告(年未年始特別編について他)
- 4.視聴者からの反応の共有(コールセンターレポートより)
- 5.番組審議

対象番組:

『営業-1 グランプリ 2024 総決算スペシャル〜営業&学園祭 出演回数ランキング TOP10〜』
2024年12月14日放送

- 6.閉会のご挨拶(泉 取締役)
- 7.閉会の辞 (審議委員長)
- 8.事務局からの連絡

川上審議委員長による開会の辞に続き、社長 稲垣より「編成面でもユニークな番組が増えてきており、本日審議いただく番組以外の番組に関してもお気づきの点があれば忌憚の無いご意見を賜りたい。」という挨拶を行い、審議会を開始した。

■審議の経過の概要等

1.編成関連の報告

金田 代表取締役専務兼編成制作局長より、年末年始の特別編成等、直近の編成動向について、以下ポイントを中心に説明が行われ、全審議委員に理解された。

① 年末年始編成について

12月30日(月)～1月5日(日)を特別編成期間として、以下のように、人気コンテンツを中心とした時間帯ごとのブロック編成を行った。

- ・早朝帯に上方若手落語を放送
- ・朝からゴールデンタイムにかけて吉本新喜劇を放送
- ・プライムタイムに、地方情報や知識を意識した特番を放送
- ・深夜帯にゴルフ、麻雀といった趣味性の強い番組を放送

上記に加え、再放送などの活用で、昨年よりもコストを抑えつつ、視聴数においては野球中継を除く過去最大の高い数字を記録することができた。

② YouTube等の活用。

・YouTubeの公式登録者数が12万8千人台に達し(2025年1月24日時点)、12月にはBSよしもととして過去最高の月間配信売り上げを記録し、その後も更に記録を更新中である。今後も新たな視聴者拡大のために活用していきたい。

2. 視聴者からの反応の共有(コールセンターレポートより)

考査部より、昨年10月～12月中にコールセンターに寄せられた視聴者からの意見についてのサマリーと、金田専務取締役兼編成制作局長より、出演者に対するコンプライアンス研修を実施し、放送基準への理解が深められていることを報告し、全審議委員に理解された。

3. 番組審議

対象番組：「営業-1 グランプリ 2024 総決算スペシャル

～営業&学園祭 出演回数ランキング TOP10～」(2024年12月14日放送)

初めに、株式会社よしもとセールスプロモーション&エリアアクション イベント営業本部の河野番組プロデューサーより番組概要、誕生の背景と営業的な成果、地上波への波及についての説明を行い、続いて審議委員長による進行により、各審議委員から寄せられた質問については、河野プロデューサーが応答する形式で番組審議を実施した。

各審議委員からは、以下のような意見と質問が寄せられた。

- ・2時間のスペシャル番組に相応しい内容の面白い力作であった。
- ・サバンナ八木等、ベテラン芸人の復活、大活躍が番組の中で際立っており、キャストイングの良さが感じられる。

- ・ランキングに登場する、地上波では馴染みの無い芸人たちの顔ぶれに、吉本の芸人層の厚さ、ジャンルの多様性が感じられた。ひな壇に座っている芸人の名前がわかるように、もう少しわかりやすくなっているとより良かった。
- ・番組内で紹介される『営業マニュアル』の存在がとても興味深く、より長いコーナーとしてもっと見たくなるようなアイテムであった。
- ・昔の楽屋の風景、お茶子の説明などを、貴重な写真を使って丁寧に紹介されているところに吉本の歴史が感じられ、とても興味深かった。
- ・すでに YouTube でも楽しめていたコンテンツであったが、番組から YouTube への誘導視聴の仕掛けが良い。今後は、よりメディアの相互活用を行い、視聴機会の拡大を試みてはどうか

これらの意見に対し、河野番組プロデューサーより、以下のような説明を行い、理解された。

- ・ベテラン社員世代として、楽屋での『所作』を学んだ自らの体験から吉本らしさの表現を意識し、社内で大切に保管されている貴重な写真の活用、コメントの入れ方の工夫等、吉本の総合力の一部を番組制作に活用したが、まだまだ伝えられる素材がある。
- ・地上波では馴染みの薄いベテラン芸人への敬意を持った芸人間のルールとしての『いじり』をうまく番組に活かすことができた。
- ・サバンナ八木による『営業マニュアル』については、次回以降は、もう少し長く時間をとって楽しめるようにしつつ、ランキングされているものの、スタジオに出演していない芸人の紹介も意識したい。
- ・今後もこの番組を定期的に放送できるように計画中であるので、次回以降も忌憚ないご意見をいただきたい。

また、審議委員より今後の審議対象番組に関して、「今回の対象審議番組のような人気のある番組以外にも、もう少し特徴のある番組も含めて幅広く選定してはどうか」という意見も寄せられ、「今後の審議番組の選定の参考にしたい」との稲垣社長からの回答を行った。

7.閉会の挨拶

最後に泉取締役より「本日審議された番組は、よしもとエリアアクションと BS よしもとの連動を図る中で、イベント営業の宣伝手法として番組化が企画され、担当のベテラン社員がプロデューサーとなることで実現できた奇跡の番組である。また、地方創生の活動については、47 都道府県の各エリア社員がタイアップの獲得に積極的に取り組んでおり、売り上げの向上に貢献している。加えて、既存の埼玉県訪問看護事業も黒字化を達成し、好調につき拠点の拡大を検討する等、発展的に推移できている」という旨の報告と閉会の挨拶が述べられ、続いて審議委員長による閉会の辞が述べられ、審議会が終了となった。

■現在のBSよしもと審議会委員（敬称略）

※2025年1月現在

川上和久（委員長／麗澤大学教授）

大原鶴美（副委員長／プロフェッショナル コミュニケーションスキル マスター・トレーナー）

久保博（一般財団法人 日本スポーツ推進機構（NSPO）理事）

品田英明（元 味の素 AGF 株式会社代表取締役社長）

清水義次（建築・都市・地域再生プロデューサー/株式会社アフタヌーンソサエティ代表取締役）

竹中ナミ（ナミねえ）（社会福祉法人プロップ・ステーション理事長）

山田奈美香（山田・尾崎法律事務所 弁護士）

以上